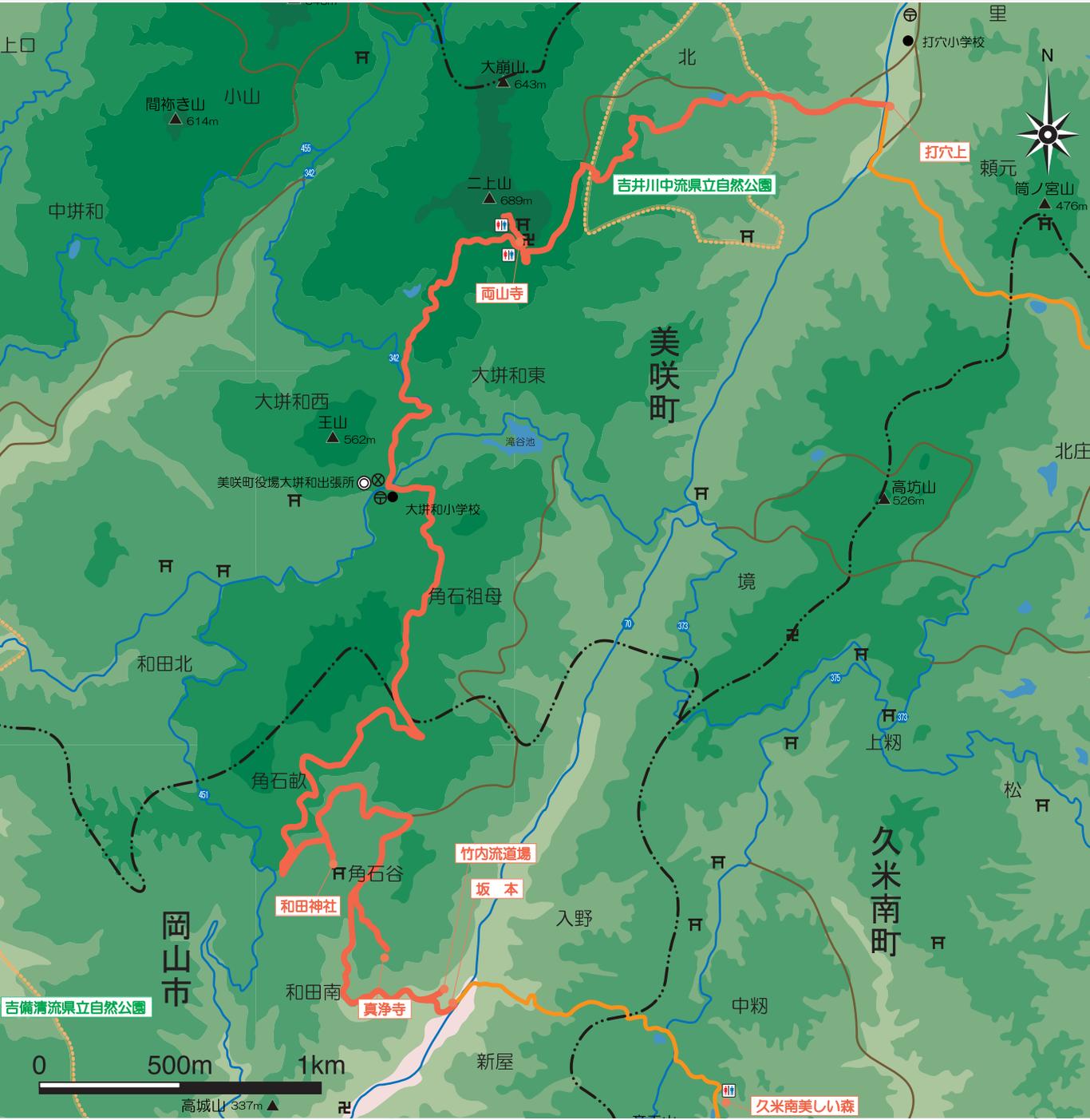


①6 両山寺と棚田を訪ねるみち



主な見どころ

● 竹内流道場



戦国末期の天文元年（1532）、併和一瀬城主竹内久盛が創始した古武道竹内流発祥の地である。急斜面の山麓には江戸中期に宗家と門人達によって建てられた道場がある。（昭和51年県指定史跡）

● 真浄寺



白鳳年間（661～673）紀州由良（和歌山県日高郡由良町）の由羅和尚により開創された。現在の本堂、客殿は、昭和5年正皓院日題上人の時改築されたもので、仁王尊像は雲慶作と伝えられている。

● 和田神社



堀川天皇の御宇山城国男山八幡宮の分霊を併和大山に祀り、大山八幡宮と称していた。後に角石畝の畝接山に遷し、文永4年（1267）正月、榎本重成、公文藤原為重が大施主となり、現在の社地を開拓して社殿を造営した。

● 両山寺



両山寺は、元明天皇の和銅七年（714）に開祖泰澄法師が観音の霊夢により造営した古い寺院である。高野山真言宗準別格本山両山寺と称し、御本尊には正観世音菩薩を安置している。

コース案内

坂本	0.5km	竹内流道場	2.3km	真浄寺	2.7km	和田神社	8.6km	両山寺	4.3km	打穴上
	10分		46分		54分		172分		86分	

■1日コース延長18.4km
■時間6時間8分